

自治体名	青梅市					
地域未来塾名称	青梅市学力向上対策事業（ステップアップクラス）					
実施場所(個所数)	■学校：16校（小学校16校）					
対象学年	■小学生（4年～6年）					
学習支援員数	86人	■大学生、■教員OB、■地域住民（数値は、提出日現在。）				
対象教科	国語	○	算数・数学	○	英語	必要に応じ実施
	その他	必要に応じて、理科および社会				
ICT活用有無	無		東京バーシット [®] リ活用		有	
<p>【実施規模】 ■実施回数：1校平均 年140回程度 ■実施曜日 月～金 ■時間帯 主に放課後（14:30-16:30等）</p> <p>【運営体制・方法】 学力向上を図ることを目的として、各校において、学校長が現場に見合った具体的な業務を遂行し、これを運営する。支援員については、各校において学校長が推薦し青梅市教育委員会の認める者を配置することができる（地域人材等を活用）。教材については、各校が青梅市教育委員会の定める各校配当予算の範囲で購入する。</p> <p>【成果・課題等】 <支援員の声から>やる気のある児童が申し込んでいるため、着実に力がついていると感じる。「今度、いつ？」と楽しみにしている児童もいる。しっかり取り組める子がいる中で、集中力が続かない子がいる。その子をどのように指導するかが課題。 <参加児童・生徒の声から>教えてもらって、わかると楽しい。苦手な勉強が復習できて、わからないところを教えてくれる。間違えていないかを見てくれるのがうれしい。</p>						

地域未来塾名称	青梅市学力向上対策事業（ステップアップクラス）					
実施場所(個所数)	■学校：10校（中学校10校）					
対象学年	■中学生（1年～3年）					
学習支援員数	31人	■大学生、■教員OB、■地域住民 （数値は、提出日現在。小学校との重複は除く）				
対象教科	国語	○	算数・数学	○	英語	必要に応じ実施
	その他	必要に応じて、理科および社会				
ICT活用有無	無		東京バーシット [®] リ活用		有	
<p>【実施規模】 ■実施回数：1校平均 年140回程度 ■実施曜日 月～金 ■時間帯 主に放課後（14:30-16:30等）</p> <p>【運営体制・方法】 学力向上を図ることを目的として、各校において、学校長が現場に見合った具体的な業務を遂行し、これを運営する。支援員については、各校において学校長が推薦し青梅市教育委員会の認める者を配置することができる（地域人材等を活用）。教材については、各校が青梅市教育委員会の定める各校配当予算の範囲で購入する。</p> <p>【成果・課題等】 <支援員の声から>個別に対応しているので、できることが増えている。生徒にとっても、話も素直に聞くことができる環境だ。しかし、「残されている」という気持ちの生徒もいるため、自分から意欲的に取り組めるようになると成果が出てくると思われる。 <参加児童・生徒の声から>参加を楽しみにしている。テストで満点をとることもできた。達成感につながった。わかりやすく教えてもらえるので、嬉しい。得した気分になる。</p>						

自治体名	青梅市				
地域未来塾名称	青梅市学力向上対策事業（サタデークラス）				
実施場所(個所数)	■学校外施設 「青梅市 市民センター」 6 個所				
対象学年	■小学生（4年～6年）／■中学生（1年～3年）				
学習支援員数	18人	■民間教育事業者（数値は、1回あたり。）			
対象教科	国語	○	算数・数学	○	英語
	その他	必要に応じて、理科および社会			
ICT活用有無	無	東京ベーシックドリル活用		有	
【実施規模】					
■実施回数：年10回 ■実施曜日 土曜日 ■時間帯 9時30分～11時30分					
【運営体制・方法】					
サタデークラスは、学力向上を図ることを目的として実施する。民間事業者に対して、運営・事務および生徒への指導・安全管理等を委託する。教材については、市が整備したものと、業者が整備したものを使用する。					
【成果・課題等】					
参加者に対し、8月にアンケート調査を行った。「学校の授業に役立っていますか」では「そう思う」が89%、「家で勉強をする時間が増えましたか」では「増えた」が32%、「今後も参加し続けたいか」では「そう思う」が89%となった。また、「学校での勉強は楽しいですか」では、「楽しい」という回答が86.1%であり、6月調査時の79.9%より上昇した。このような学力向上の観点上好ましい指標を、いかに維持・上昇させていくかが課題となっている。					

自治体名	昭島市				
地域未来塾名称	昭島市立小学校 土曜日・放課後補習教室				
実施場所(個所数)	■学校：小学校13校				
対象学年	■小学生（全学年）				
学習支援員数	58人	■大学生、■教員OB、■地域住民			
対象教科	国語	○	算数	○	英語
	その他				
ICT活用有無	無	東京ベーシックドリル活用		有	
【実施規模】（※学校により、回数、曜日が異なる）					
■実施回数：年40回程度 ■実施曜日 土・平日は学校により異なる					
■時間帯 土 9:00～12:00 平日 14:30～16:30					
【運営体制・方法】					
<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日補習教室は年8～12回実施、放課後補習教室は学校によって異なる。 ・教材は東京ベーシックドリルを中心に、学校独自のプリントも活用する。 ・習熟が難しい児童を中心に参加を呼びかけ、指導員が個別指導を実施する。 					
【成果・課題等】					
<p><児童の声から> ・分からないところを丁寧に教えてくれてよかった。</p> <p><教員から> ・補習指導が必要な児童に個別に声をかけて受講させることができた。</p> <p>・指導員が補習指導を行ってくれるので、教員の負担軽減につながる。</p>					